

ジャワ島支援へ

天台宗が義援金

AMDAに寄付

インドネシア・ジャワ

島中部地震や同島南岸を襲った津波による被災者支援のため天台宗（本庁・大津市）は八日、「一隅を照らす運動」で集まった義援金四百万円を国際医療ボランティアAMDAに寄付した。写真。



部長が岡山市櫛津のAMDA本部を訪問。「継続的な医療支援に役立ててください」と目録を手渡すと、菅波茂代表は「現地の保健センター復興などに充てたいと思います」と述べた。

同運動は地震発生（五月下旬）の後、全国約三千の寺に義援金を呼び掛け。県内の宗教関係者らで組織する「人道援助宗教NGOネットワーク」の副委員長を務める永宗

幸信・天台宗本性院副住職、倉敷市玉島黒崎の橋渡しで、AMDAへの寄付を初めて決めた。

（臼杵正純）